

平成27年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	阿賀川オキナグサ保全活動	事業経緯	新規	実施体制	協力	担当所属	会津若松支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	河川・道路等愛護活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

「オキナグサ」は、古くは福島県会津地域のどこでも見られたが、現在自生しているのは会津美里町大石地区の阿賀川堤防の一部など限られた場所となっており、阿賀川での絶滅が危惧されている。

本事業は、地元住民、関係団体が実施しているオキナグサの保全活動(種採取・苗移植)を支援することにより、オキナグサの絶滅回避、地域住民に対し自然保護及び河川愛護等の啓蒙を図ることを目的とする。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

オキナグサは、4月から5月にかけて、赤紫色で鐘型の可憐な花を咲かせ、日当たりの良い草地に生える多年草であり、環境省や福島県のレッドデータブックに記載されている貴重な植物である。

本事業を通じて、オキナグサの絶滅回避が進むことはもとより、地域の幅広い世代が活動に参加することで交流が深まり、河川愛護精神の啓蒙が図られ、生物への関心、自然保護の気運の高まりが期待できる。

2. 事業実施体制

主催:オキナグサを守る会

草をメゴカル会、NPO法人会津阿賀川流域ネットワーク、大石・大門地区住民、特別養護老人ホーム・ハーモニーハウス 等 (事務局:会津美里町建設課)

協力:国土交通省阿賀川河川事務所、(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◆オキナグサ種採取

日時:平成27年5月28日(木) 10:00~11:00

場所:大石農村公園の阿賀川堤防(左岸26.6k~28.6k)

実施概要:

- ・小学生・園児へのオキナグサの貴重性の説明
 - ・秋のオキナグサ苗移植に向けて地元小学生及び園児による種取り作業など
- 参加者:本郷幼稚園園児、本郷小学校3年生、地元住民等 約110人

◆オキナグサ苗移植

日時:平成27年10月29日(木) 10:00~11:00

場所:大石農村公園の阿賀川堤防(左岸26.6k~28.6k)

実施概要:オキナグサの苗移植 1,000株

参加者:本郷小学校3年生、地元住民等 約80人



種の採取



育苗(種の植付)



苗の植付



育苗(散水)



苗の育成状況



オキナグサ